

医事 業務

Bi-weekly Medical Services

2026

3

1

NO. 708

特集 1

医事課の課題解決

価値向上のヒント



特集 2

多職種の業務改革

特集1
医事課の問題解決
価値向上のヒント

事例1

医療DX推進による 業務改善

マイナ保険証利用促進

社会医療法人栄公会 佐野記念病院 医事部 田畑佳美

佐野記念病院(以下、当院)は、大阪府泉佐野市に位置し、関西国際空港の近くにある95床の一般病棟を有する二次救急指定病院です。整形外科・脳神経外科を中心とした医療を提供しており、1日平均300名の外来患者、月に約200件の救急搬送を受け入れています。

医療DX推進に伴う現場対応の工夫

近年、政府が推進する「医療DX」は、医療現場におけるデジタル技術の活用により、患者への質の高い医療提供と医療従事者の業務効率化を目指す取り組みです。これまで医療機関では患者情報を施設ごとに個別管理しており、診療情報の共有が困難でしたが、医療DXの推進によって、患者情報や医療データを地域間でスムーズに連携できるようになります。

その一環として導入されたのが「マイナ保険証」です。これはマイナンバーカードを健康保険証として利用する仕組みで、本人確認を正確かつ迅速に行えるだけでなく、薬剤情報や健診結果などの医療情報が共有可能となり、より安全で適切な医療の提供につながります。

しかし導入当初は、高齢者を中心に「カードを持ち歩きたくない」「操作が難しい」といった不安が多く、利用率が伸び悩みました。そこで当院では、カードリーダーの

設置場所の見直しや案内体制の強化など、利用促進のための複数の施策に取り組みました。

まず、カードリーダーは当初、病院入口(写真1)、初診申込書記入台(写真2)、受付カウンター(写真3)の3カ所に設置されていましたが、再来受付機との動線が悪く、患者の利用が進みませんでした。そこで、再来受付機とカードリーダーを横に並べるように設置場所を変更(写真4)し、動線を改善。さらに、受付カウンター以外にもカードリーダーを増設し、患者が自然な流れで利用できるような工夫しました。

また、院内ではポスター掲示やデジタルサイネージによる広報も行い、継続的にマイナ保険証の利点を周知し

写真1 病院入口



写真2 初診申込書記入台



写真3 受付カウンター



写真4 再来受付機とカードリーダー



写真5 再来受付機とカードリーダー



ています。窓口では職員が「マイナンバーカードはお持ちですか?」と積極的に声かけを行い、説明や操作サポートも実施しました。

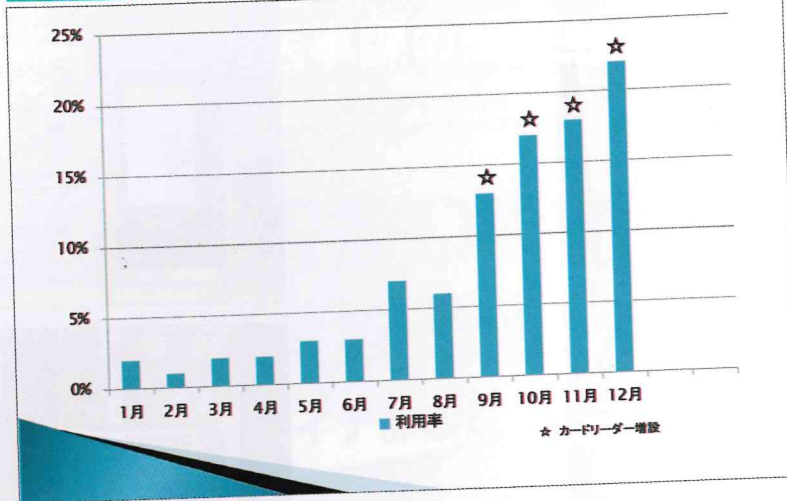
業務面でも変化が見られました。案内係の導入により、カード認証から保険情報の確認、診察室への案内までがスムーズに行えるようになり、会計時の待ち時間も短縮されました。職員間で定期的な使用

状況や改善点を共有しながら、継続的な運用改善を図っています(写真5)。

カードリーダー増設の成果と効果

2024年12月には現行の健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードの利用が前提となったことを受け、さらにカードリーダーを増設。その結果、2024年

図表 マイナ保険証利用率



初頭には1ヶ台だったマイナ保険証の利用率(図表)は、9月以降、顔認証機能付きのカードリーダーの設置も追い風となり、2ヶ台へと増加しました。2024年11月にはさらにもう1台を増設し、以降も利用率は上昇傾向にあります。

診療現場でもマイナ保険証の活用が進んでいます。患者がカードを通すことで、診察室内のカルテ画面から「マイナ情報」ボタンをクリックし、薬剤情報や健診結果を簡単に確認できます。これにより、医師や薬剤師が患者の服薬履歴や過去の診療情報を確認したうえで、よりの確な判断・処方が可能になりました。

この取り組みにより、患者にとっては安全で適切な医療の提供が受けられるという大きなメリットが生まれました。医療従事者側も、保険証情報や住所の手入力作業が不要になり、業務効率化が実現しています。また、災害時にもクラウド上の医療情報にアクセスできるなど、安心・安全な医療体制の構築にもつながります。

さらに、オンライン資格確認を導入している医療機関では、高額療養費制度における限度額の自動適用が可能となり、事前申請の手間が省けるなど、患者の経済的負担軽減にも貢献しています。

課題と今後の取り組み

一方で、システムトラブルや高齢患者への対応など課題も残っています。今後は、医師・看護師を含む病院全

体でマイナ保険証の運用を理解・定着させることが重要です。また、システムの安定運用と患者への丁寧なサポート体制を引き続き強化していく必要があります。

そして2025年9月19日より、当院では新たに「スマートフォンによるマイナ保険証利用」もスタートしました。これにより、カードを持ち歩く必要がなく、スマートフォン1台で受付が可能となり、さらに患者の利便性が向上しています。

今後も当院では、医療DXの推進とマイナ保険証の活用を通じて、患者にとってより良い医療環境の提供と、職員にとって効率的で働きやすい体制の実現を目指し、取り組みを継続してまいります。M



病院概要

病院名：社会医療法人栄会 佐野記念病院
所在地：大阪府泉佐野市中町2-4-28
電話：072-464-2111
病床数：95床